



サービス担当者会議参加に参加しております!

暑かった夏が嘘のように、秋の風が頬を冷たく流れる季節となりました。朝晩の気温の低下で体調など崩されませんかよう心よりお祈り申し上げます。

さて、今回の通信では「サービス担当者会議」への参加状況についてご紹介させていただきます。

【事例1】

患者様の主訴は入れ歯が合わず食事がしづらいつつとこのことで、訪問歯科を希望された方がいらつしやいました。

会議参加者は利用者様ご本人、奥様、ケアマネ、訪問看護、デイサービス、福祉用具、当院の各担当者です。

当初は訪問歯科を導入するうえでのサービス日時の調整や何かあった場合の連携について確認し合う場としての意義が大きかったのですがデイサービスでのお食事の様子を確認させて頂くと気になる声が出てきました。

それは食事中に「むせる」ことが多くなったような気がするとお話でした。



するとご家族も、そう言えば入れ歯が合っていないことだけ気にしていたが、以前よりむせていることが多い気がするとのこと。

早速当院担当が嚥下機能についての資料をお出しして、機能が衰える要因やその際に起こりうるリスクについて説明。当然、**誤嚥性肺炎の危険性**についても分かりやすく説明させて頂きました。

その後、会議参加者の意見として嚥下検査や歯科衛生士による口腔ケア及び嚥下リハビリを導入するに至りました。

嚥下機能は一旦衰えてしまうと、回復させるのが簡単ではない為、悪くなる前にリハビリを行うことで、機能の維持・改善につなげることが出来ました。

【事例2】

最近、むせ込みがひどい為、ご自宅やデイケアでの食事の考え方、取扱い等について、サービス提供側にて共通認識を持ち、それぞれに今後の生活面での改善点を検討する目的の会議でした。

参加者はご本人、奥様、ケアマネ、デイケア主任、訪問リハビリ療法士、福祉用具、新たに検討しているデイサービス相談員の方々でした。



利用者様は夏場の暑さで血圧が安定しなかった為に、リハビリの機会が減ってしまった影響もあり、身体の機能低下がみられ意欲も減退している情況。

現在、キザミのとりみ食、お粥が基本。今まで通所リハでは食事に集中できないことから一人で離れて食べるように対応することで食べこぼしは減っていた。

最近、職員の指示がすっかりご本人に伝わらず、食物を口いっぱい頬張ることもあり誤嚥の心配があった。

実際、今回会議時に召し上がって頂いた時も同じ状態が見られました。

以上の経緯より、今後もひまわり歯科の嚥下評価と口腔ケアを続けていくことで、誤嚥予防への注意を図りながら、連携して取り組むことに決まりました。

訪問歯科の説明に伺います!

今回は担当者会議でのご説明ですが、お口の中が気になる方がいらつしやいましたら、ケアマネージャー様と一緒に利用者様宅へ伺い、訪問歯科の説明をさせていただきます。

定期訪問時にも、お気軽にご相談下さい。

ひまわり歯科は今後も各サービスとの連携に力を入れてまいります。

